

目次



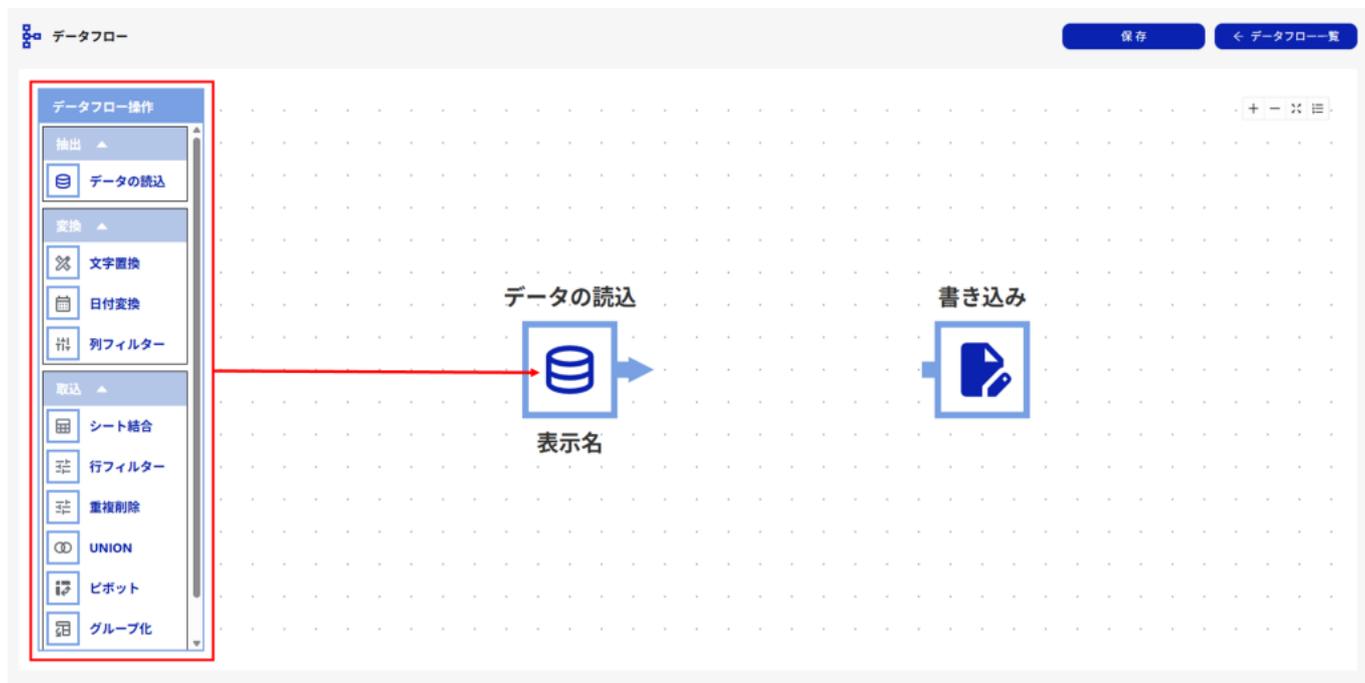
- [操作手順](#)
- [抽出](#)
 - [1.データの読込](#)
 - [2.データの書き込み](#)
- [変換](#)
 - [1.文字置換](#)
 - [2.日付変換](#)
 - [3.列フィルター](#)
- [取込](#)
 - [1.シート結合](#)
 - [2.行フィルター](#)
 - [3.重複削除](#)
 - [4.UNION](#)
 - [5.ピボット](#)
 - [6.グループ化](#)
 - [7.列結合](#)

データフロー機能における各操作（抽出 / 変換 / 取込）の手順と各設定内容について説明します。

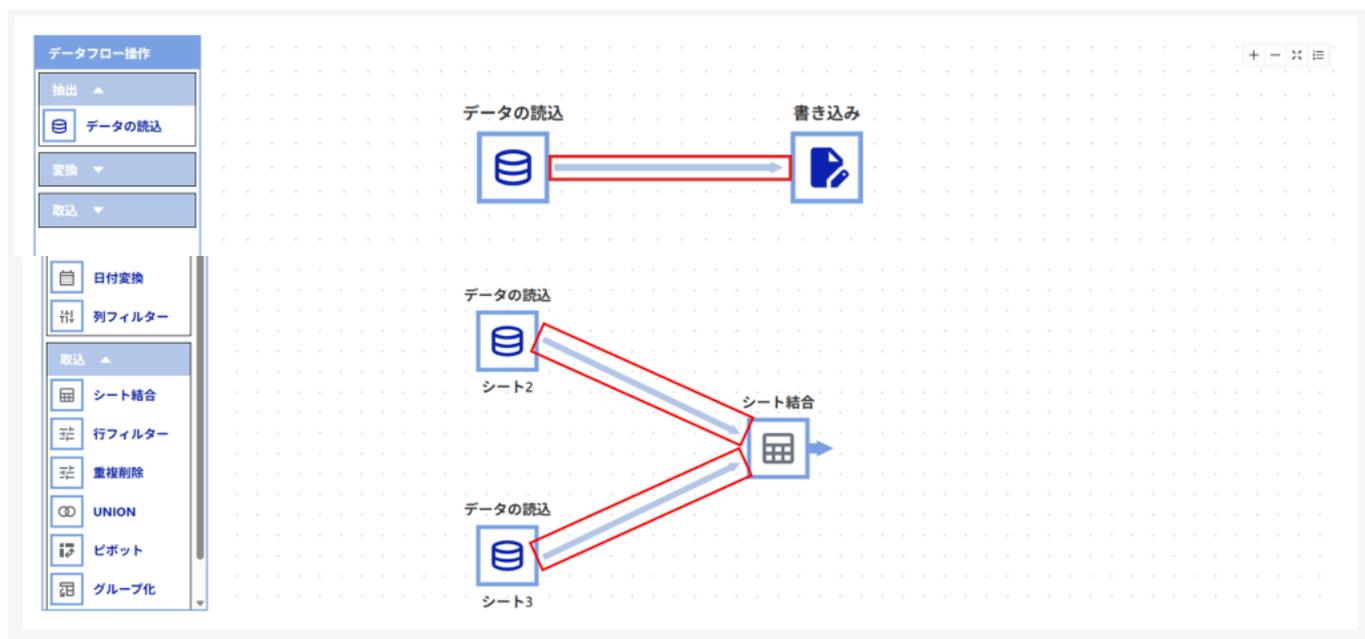
操作手順

以下の操作はすべての処理に共通する基本手順です。

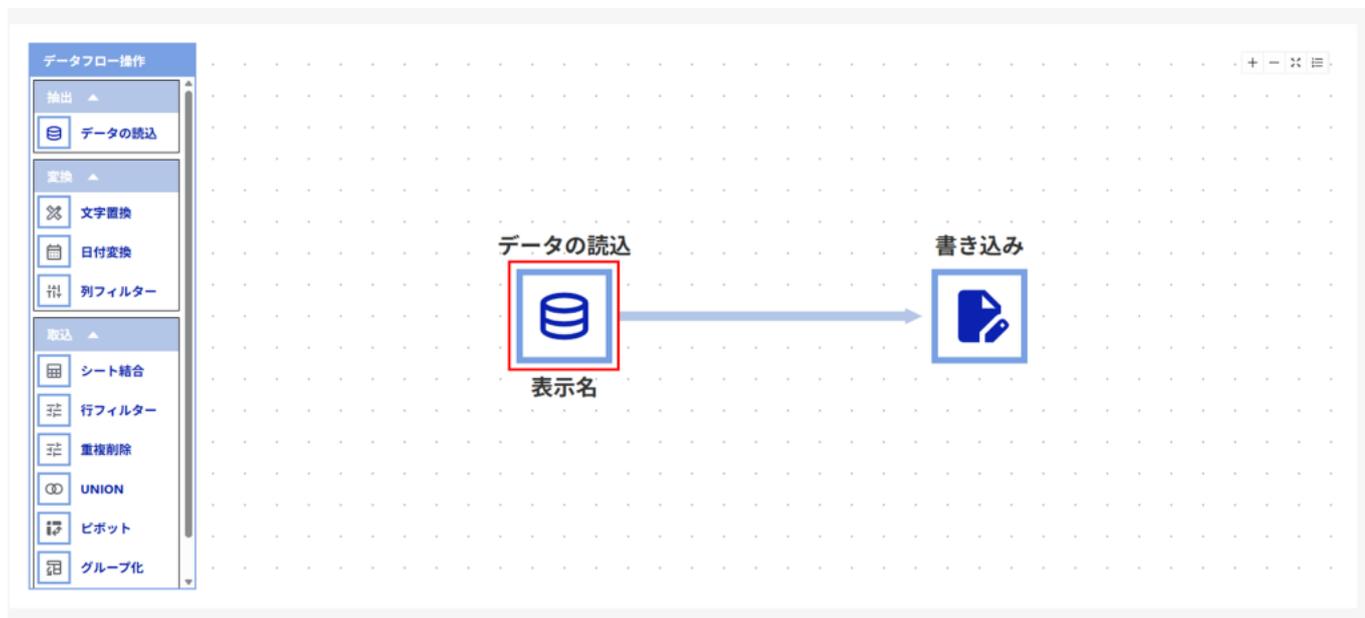
1. データフロー操作欄から、目的の処理カテゴリ（抽出 / 変換 / 取込）を選択し、該当のアイコンを配置します。



2. 必要なデータ項目と接続します（矢印をつなぎます）。
複数のデータが必要な場合は、2つの項目を接続します。



3. アイコンをクリックします。



4. 表示された設定画面で必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

×

🔍 データの読込 プレビュー

表示名*

読込対象シート*

削除キャンセル保存

抽出

1データの読込

項目	説明
表示名	データフロー設定画面上に表示される名称を入力
読込対象シート	既存のシートの中から、読み込む対象シートを選択

2データの書き込み

項目	説明
フロー名	データフロー一覧に表示される名称を入力

項目	説明
フロー設定	データフローの有効/無効の切り替え設定 有効の場合、データフローを実行します。
作成シート名	データフローから作成されるシート名称を入力
実行方式	手動実行または定期実行のいずれかを選択
実行頻度	定期実行の場合、実行頻度を毎日/毎週/毎月/毎年から選択
開始時刻	定期実行の場合、実行開始時刻を設定

変換

1文字置換

項目	説明
表示名	データフロー設定画面上に表示される名称を入力
文字置換設定	対象項目名、置換元の値、置換後の値を指定 完全一致で置換をします。

2日付変換

項目	説明
表示名	データフロー設定画面上に表示される名称を入力
日付変換設定	対象項目名、変換方法、変換後の項目名を指定  アイコンから変換の種類とサンプルを確認できます。

3列フィルター

項目	説明
表示名	データフロー設定画面上に表示される名称を入力
列フィルターモード	抽出または削除のいずれかを選択
列フィルター項目設定	フィルター対象となる列(項目名)を指定
項目名書き換え設定	フィルター(抽出、削除)後に項目名を変更する場合に使用

取込

1シート結合

項目	説明
表示名	データフロー設定画面上に表示される名称を入力
結合種別設定	内部結合 / 左外部結合 / 右外部結合のいずれかを選択
結合軸シート	主軸として使用するシートを選択
結合参照シート	参照元となるシートを選択

2行フィルター

項目	説明
表示名	データフロー設定画面上に表示される名称を入力
絞り込み条件	対象となるカラム名、条件式、検索値、AND / OR条件を組み合わせて設定条件に合うデータのみを抽出します。

3重複削除

項目	説明
表示名	データフロー設定画面上に表示される名称を入力
重複削除カラム名	重複を判定する対象項目を指定 一番最新のデータを残してそれ以外の重複データを削除します。
実行前にソートする	削除前に指定カラムでソートを行うかどうかを設定

4UNION

項目	説明
表示名	データフロー設定画面上に表示される名称を入力
UNION対象シート	接続されたシートが自動的に認識されるため、設定不要

5ピボット

項目	説明
表示名	データフロー設定画面上に表示される名称を入力
グループ化項目	行のグルーピング対象を選択
ピボット化項目	列のグルーピング対象を選択
集計関数	グループ化後の値をどう計算するかを指定

6グループ化

項目	説明
表示名	データフロー設定画面上に表示される名称を入力
グループ化項目	どの項目を基準にグループ化するかを選択
集計関数	グループごとに選択した項目を集計した値を算出する

7列結合

項目	説明
表示名	データフロー設定画面上に表示される名称を入力
列結合対象1 / 2	結合対象となる2つの列をそれぞれ選択 (結合後のデータには残りません)
区切り文字	結合時に2つの値の間に挿入する文字列を指定
列結合後の列名	新たに生成される列の名称を指定